

JSB 企画「バイオメカニクス研究法への招待 (JISS 編)」報告書

国立スポーツ科学センター

窪 康之

期日：2014年3月15～16日

場所：国立スポーツ科学センター

参加者：15名（学部1年3名、2年2名、3年3名、4年4名、院生3名）

内容：

初日は、モーションキャプチャシステムを用いた動作分析、等速性筋力測定装置を用いた膝関節筋力の測定、自転車エルゴメータを用いた最大無酸素パワーの測定を行った。参加者は、測定者と被測定者の両方を体験した。JISS スタッフが測定機器の仕組みと測定の意義を説明し、測定によって得られた参加者のデータを競技者の平均値と比較して評価した。

2日目は、上記データ間の関連性（筋の力-速度関係など）や動作分析データから算出した下肢関節トルクの解釈についての講義を行った。また、バイオメカニクスデータを活用したトップアスリートに対する JISS のサポート活動なども紹介した。その後、JISS 内を見学した。

感想と反省：

測定スケジュールに余裕を持たせ、JISS スタッフによる測定の解説を充実させた。参加者からは、わかりやすい説明であったと好評であったし、JISS スタッフにとってもよい経験となった。

今回は、2日目に測定結果を議論する講義を設けたが、学部生には少し難しい内容となってしまった。しかし、わからないことを質問してきたり、こちらの問いかけに一生懸命答えるなど、参加者の積極的な態度がみられ、充実したものとなった。全体として、学部生からはよい刺激になったとの感想が多かったが、院生からは少し物足りなかったという感想が寄せられた。次回への検討材料としたい。

